

「加賀家文書歴史講座」のお知らせ

～松浦武四郎と加賀伝蔵～

蝦夷地（北海道・樺太・千島）を6回にわたり隈なく踏査した松浦武四郎は、別海地方に4度も立ち寄っています。今回の講座ではその足跡を探り、現在と比べて何がどう変わったのかを検証します。また、北海道の「名付け親」といわれているが果たして本当なのか、明治になって一度も北海道を訪れることがなかったのはなぜなのかといった武四郎の謎に迫ります。講座最終日には、武四郎の地図を手に外へ出て、実際に現地を見るフィールドワークを行います。

●第1日目●

日 時 平成18年8月24日（木）

午後7時～午後8時30分

場 所 加賀家文書館

内 容 1. 加賀伝蔵と別海 2. 松浦武四郎と蝦夷地 3. 武四郎と弘化2年の別海地方

●第2日目●

日 時 平成18年8月25日（金）

午後7時～午後8時30分

場 所 加賀家文書館

内 容 1. 武四郎と安政3年の別海地方 2. 武四郎と安政5年の別海地方 3. 加賀伝蔵と武四郎（文書館所蔵の手紙と文献から）

●第3日目●

日 時 平成18年8月26日（土）

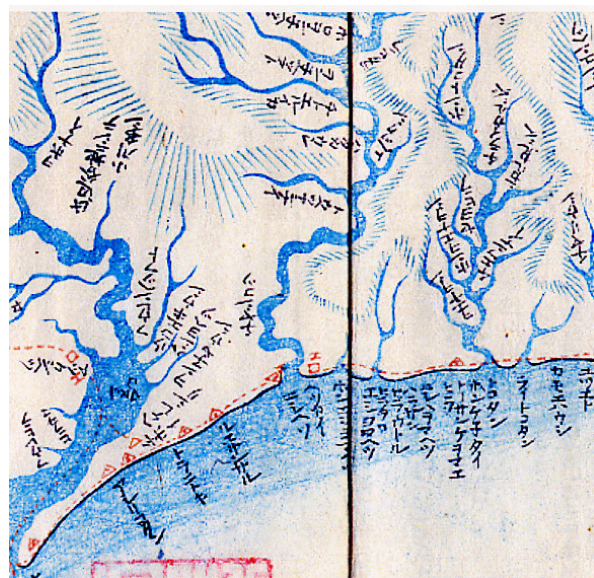
午前9時～午後12時

場 所 別海海岸地区

内 容 フィールドワーク「自分の眼で確かめる」
走古丹（昔の地は？）～本別海（ラクスマン上陸か！）～茨散（バラサンはどこへ？）
～床丹（川や道は動く！！）

集合場所 別海町郷土資料館前

講 師 加賀家文書館調査員 戸田峯雄



松浦竹四郎『東西蝦夷山川取調図』
（加賀家文書館蔵）より

参加申し込み案内

1. 募集人員 各日20名
2. 参加申込み先
郷土資料館へ電話・FAX・メール（裏面に記載しています）のいずれかにて、お名前・住所・電話番号、参加希望日をお知らせください。（1日だけの参加でも構いません。）
3. 申込み受付期間
平成18年8月23日（水）まで。ただし、定員になり次第締め切ります。
4. その他
3日めは車をこちらで用意しますが、ご自分の車で参加し、最終見学地の床丹で解散することも可能です。

資料の有効的活用 **せんべい焼き体験** (別海くるみ幼稚園育成会)

当館では資料の有効的活用を図るため、可能な限り資料の貸出しを行っています。今回、くるみ幼稚園育成会に「せんべい焼き器」の貸出しを行いましたので、その様子をお知らせします。



くるみ幼稚園では、毎年の行事として「夏のお楽しみ会」が実施されています。父兄（育成会）の出店もあり、そこで「せんべい焼き」が登場しました。材料は、小麦粉をベースに砂糖・塩・バター・ゴマを混ぜ、玉状にし、せんべい焼き器にはさみ炭火で焼きます。父兄は20～30代ですので全く経験がなく、初めのうちは焼き加減がわからず苦労していましたが、コツを覚えるとパリッと歯ごたえのあるせんべいが出来上がるようになり、子どもたちにも好評でした。昔ながらのせんべい作りを体験し、子ども以上に喜んでいた父兄の姿が印象的でした。(文責 石渡一人)



別海町郷土資料館だより No.85

発行日 平成18年8月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.gr.jp

ふるさと講座 「コウモリ観察会」実施報告



7月24日、昨年に引き続き根室市歴史と自然の資料館主任学芸員の近藤憲久氏(写真右)を講師にお招きし、奥行臼駅通においてコウモリ観察会を行いました。ホオヒゲコウモリ14頭その他、別海町では初記録となるチチブコウモリ1頭がかすみ網にかかり、直接翼に触ってもらうなど参加者のみなさんに間近で観察してもらうことができました。(文責 戸田博史)

第3回ふるさと講座歴史系

「遺跡体験発掘」のご案内

と き 平成18年9月1日(金)

午前9時～午後12時

ところ 標津町ポー川史跡自然公園内

(集合場所 標津町ポー川史跡自然公園)

講 師 標津町ポー川史跡自然公園

園長 梶田光明 氏

※参加申し込みは資料館まで。お早めに！

郷土資料館のお知らせ(8月)

- 休館日 5日・6日・14日・19日・20日・28日
- 開館時間
午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 観覧料
一般個人 300円 一般団体(10名以上) 240円
高校生以下は無料となります。

編集後記 寄贈された大量の新聞スクラップを整理しています。昭和50年代からのものですが、整理の手を止めて記事を読み耽ることもしばしばで、「こんな事件があったのか」とか「この人にはこんな特技があったのか」などつつぶやきながらコツコツ進めています。公開できるようになりましたらお知らせします。(戸田博史)